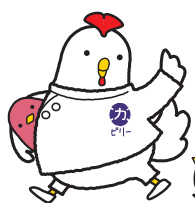


出前講座

講師派遣料 無料



理学療法 + 作業療法 + 言語聴覚療法 = 大阪河崎リハビリテーション大学

出前講座について

大阪河崎リハビリテーション大学では、高等学校・地域住民の求めに応じて、大学教員が出向して講義などを行う「出前講座」を実施しております。

出前講座は、大学の教育や本学が培ってきた研究成果に、気軽に触れることで、学び・研究する事への喜びを知っていただくため行っている事業です。学校での体験学習や生涯学習の一環としてお役立ていただけるよう、幅広いテーマをご用意しております。

講師派遣料は頂いておりませんので、どうぞお気軽にご利用ください。

申し込み方法等

- 1、裏面の申込用紙に必要事項をご記入の上 F A Xもしくは E-mailにてご連絡ください。高校関係の方はアドミッション・オフィス、地域住民の方は庶務係が受付窓口になります。
(受付後、本学担当者より内容確認のご連絡をさせていただきます。)
- 2、ご希望の講座及び日程で調整させていただきますが、ご希望に添えない場合もございます。その場合は、ご相談させていただきます代替案及び代替日程のご提案をさせていただきます。
- 3、本冊子に掲載している講座のほかにも、「このような講座を行って欲しい」等のご要望がございましたら、お気軽にご相談ください。
- 4、当日の講座実施にあたり、「大阪河崎リハビリテーション大学 企画」である旨の明示をお願い致します。

大阪河崎リハビリテーション大学について

本学はリハビリテーションに「こだわり」を持ち、リハビリテーションに「真摯」に取り組み、リハビリテーションに「特化」した大学です。

- ・河崎の「こだわり」…

“ひと”を治す力を身に付け、期待されている以上の結果を出す。
そんな医療人を育成します。

- ・河崎の「真摯」な取り組み…

患者様一人ひとりに寄り添い、病症・障がいを診るのではなく
“ひと”を診る。病気や障がいのある方を支えきる。
そんな医療人を育成します。

- ・河崎の「特化」…

理学療法学・作業療法学・言語聴覚学の3専攻を置き、他専攻との交流の中でチーム医療を実践する上で欠かせない“他職種と連携する力”を身に付ける。
そんな医療人を育成します。

昨今では医療の進展・複雑化に伴い一人ひとりの患者様の生活にあわせた医療の提供が必要になってきました。

そのためには多職種間で連携を図り、多方面の専門的な立場からケアを行う「チーム医療」が必要とされています。

本学では他専攻との交流を通じて「チーム医療」を実践する上で必要な“他職種への理解”を深め、卒業後にチーム医療が自然とこなせる環境を整えています。

〒597-0104 大阪府貝塚市水間 158 番地 TEL：072-446-6700

E-mail：nyushi@kawasakigakuen.ac.jp FAX：072-446-6767

HP：https://www.kawasakigakuen.ac.jp/



大阪河崎リハビリテーション大学

● 理学療法学専攻 ● 作業療法学専攻 ● 言語聴覚学専攻

出 前 講 座 一 覧

分 野	No.	テ ー マ	担 当 講 師		掲 載 ペー ジ
生 物	1	運動に酸素がなぜ必要か？	理学療法学専攻	教授 酒井 桂太	05
	2	12歳からの頭は自己責任だ？	理学療法学専攻	教授 坪田 裕司	05
	3	感覚の不思議	理学療法学専攻	教授 坪田 裕司	05
	4	見えてるつもりの盲点	理学療法学専攻	教授 坪田 裕司	05
	5	ミトコンドリア ～どこから来て、どんな働きをする？～	理学療法学専攻	教授 中村 美砂	06
	6	食べることの障害とその支援「むっくん」の難しさを体験してみよう！	言語聴覚学専攻	教授 木村 秀生	06
	7	耳の仕組みと聴こえ	言語聴覚学専攻	准教授 馬屋原 邦博	06
	8	難聴者の聴こえ方	言語聴覚学専攻	准教授 馬屋原 邦博	06
	9	目で見ることば ～聞こえない人・聞こえにくい人とのコミュニケーション～	言語聴覚学専攻	准教授 馬屋原 邦博	06
	10	人間の身体と二足歩行	理学療法学専攻	講師 岡 健司	07
	11	歩行の比較生物学	理学療法学専攻	講師 岡 健司	07
	12	意外と知らない糖のはなし	理学療法学専攻	講師 大箆 友博	07
	13	あなたは右脳派？左脳派？ ～左右の脳の働きを考える～	作業療法学専攻	講師 水野 貴子	07
	14	医療従事者が人を笑顔にできる訳	理学療法学専攻	助教 今岡 真和	07
ス ポ ー ツ	15	障がい者スポーツ「ボッチャ」を体験しよう	作業療法学専攻	教授 中裕 俊介	08
	16	肩の専門家が教える！「肩の仕組みと使い方」	理学療法学専攻	准教授 村西 壽祥	08
	17	スポーツ活動を健全に行うためのコンディショニング	理学療法学専攻	助教 中尾 英俊	08
	18	傷害予防に効果的なテーピング法	理学療法学専攻	助教 中尾 英俊	08
	19	成長期のスポーツ傷害の特徴	理学療法学専攻	助教 中尾 英俊	08
	20	理学療法士ができる応急処置	理学療法学専攻	助教 中尾 英俊	09
保 健	21	赤ワインポリフェノール（レスベラトロール）の健康寿命の延長効果	理学療法学専攻	教授 後藤 隆洋	09
	22	今からロコモティブシンドロームを予防する	理学療法学専攻	教授 中村 美砂	09
	23	災害時の健康を守る運動について	理学療法学専攻	教授 峰久 京子	09
	24	デスクワークからの目の疲れ、肩こり、首のつっぱりを解消しよう！	理学療法学専攻	准教授 小太 武陸	09
	25	足・姿勢と健康	理学療法学専攻	准教授 久利 彩子	10
	26	日常生活を科学する	理学療法学専攻	准教授 久利 彩子	10
	27	障がい児に対する理学療法士の関わり	理学療法学専攻	講師 畑中 良太	10
	28	痛いと感じるだけが痛みじゃない？	理学療法学専攻	助教 今井 亮太	10
生	29	左右の手の器用さをくらべてみよう！	作業療法学専攻	准教授 石川 健二	10
活	30	知って得する！「理学療法」～「痛み」の治し方	理学療法学専攻	講師 肥田 光正	11

分野	No.	テーマ	担当講師		掲載ページ
生活 活	31	記憶力っては何で決まるの？	言語聴覚学専攻	講師 芦塚 あおい	11
	32	目撃証言の信頼性	言語聴覚学専攻	講師 松尾 加代	11
	33	季節の園芸クラフト講座	作業療法学専攻	助教 田崎 史江	11
	34	園芸ボランティア養成講座	作業療法学専攻	助教 田崎 史江	11
	35	季節の花を活かしたリハビリ体験	作業療法学専攻	助教 田崎 史江	12
	36	上手く飲めない、食べれない！どうしたらいいの！？	言語聴覚学専攻	助教 和田 英嗣	12
	37	コミュニケーション・トレーニング	言語聴覚学専攻	助教 和田 英嗣	12
物理 理	38	車いすはみんなの大事な移動手段！	理学療法学専攻	教授 古井 透	12
	39	脳波からみる脳のはたらき	作業療法学専攻	准教授 石川 健二	12
	40	声のしくみ	言語聴覚学専攻	講師 芦塚 あおい	13
福祉 社	41	住宅改造の支援による作業療法士の支援について	作業療法学専攻	教授 上島 健	13
	42	病気やケガで片手が使えなくなったら？～OTが行う支援～	作業療法学専攻	教授 上島 健	13
	43	室内で出来るレクリエーション	作業療法学専攻	教授 中裕 俊介	13
	44	セラピューティック・レクリエーション	作業療法学専攻	教授 中裕 俊介	13
社会	45	子どもの権利条約	言語聴覚学専攻	准教授 野村 和樹	14
国語	46	不器用な子どもたち～読み書きが苦手な子ども～	言語聴覚学専攻	准教授 高橋 泰子	14
情報 報	47	コミュニケーションを支援する機器・ロボットの紹介と操作体験実習	言語聴覚学専攻	教授 木村 秀生	14
	48	ロボットと作業療法	作業療法学専攻	講師 南 征吾	14
家庭	49	おもしろい“道具”を体験してみよう！！	作業療法学専攻	講師 嶋野 広一	14
職業 紹介	50	作業療法のお仕事～手芸ができなくても大丈夫～	作業療法学専攻	教授 上島 健	15
	51	リハビリテーションってなんだろう	作業療法学専攻	准教授 武井 麻喜	15
	52	“作業”を分析してみよう！	作業療法学専攻	准教授 武井 麻喜	15
	53	“作業療法”って何だろう	作業療法学専攻	講師 嶋野 広一	15
	54	OTって何屋さん？	作業療法学専攻	助教 田崎 史江	15
	55	「こころの病」のリハビリテーション	作業療法学専攻	助教 大類 淳矢	16
ガイ ダン ス	56	理学療法士について	理学療法学専攻	担当教員	16
	57	作業療法士について	作業療法学専攻	担当教員	16
	58	言語聴覚士について	言語聴覚学専攻	担当教員	16
	59	リハビリテーション職について	広報委員長	中裕 俊介	16

出前講座 概要

01

運動に酸素がなぜ必要か？

担当講師	理学療法学専攻 教授 酒井 桂太	講義形式	講義
講座概要	体力には筋力、瞬発力、持久力などから構成されます。 この出前講座では、運動するためになぜ酸素が必要か、酸素はどのように用いられるのかを酸素飽和度計（オキシメーター）を用いて理解を深めてみたいと思います。		

02

12歳からの頭は自己責任だ？

担当講師	理学療法学専攻 教授 坪田 裕司	講義形式	講義
講座概要	脳の発達にはどのような仕組みがあるのでしょうか。 ご飯を食べていれば成長する部分と学習が必要な部分があることを理解して、自分の頭を育てましょう。		

03

感覚の不思議

担当講師	理学療法学専攻 教授 坪田 裕司	講義形式	講義
講座概要	冷たいと温かいの不思議。 皮膚には温度計があるのか？体の仕組みを探ってみましょう。		

04

見えてるつもりの盲点

担当講師	理学療法学専攻 教授 坪田 裕司	講義形式	講義
講座概要	皆さん盲点があるのはご存じですが、実際にどのように見えているのか、見えていないのに見えている、その不思議を実感してもらいます。		

05

ミトコンドリア ～どこから来て、どんな働きをする？～

担当講師	理学療法学専攻 教授 中村 美砂	講義形式	講義
講座概要	ダイエットや長寿に関係があると言われているミトコンドリア。 遠い昔は何者で、どのようにして私たちの体の細胞の中に住むようになったのか、そして何をしているのか。 その謎を紐解いてみます。		

06

食べることの障害とその支援「ごっくん」の難しさを体験してみよう！

担当講師	言語聴覚学専攻 教授 木村 秀生	講義形式	実技
講座概要	言語聴覚士は、食事の時の口の動きや飲み込みの障害への支援も行います。 実際に、いろんな「飲み方」や「飲まされ方」を体験しながら、何気なく毎日繰り返している、食事の不思議な面を考えてみましょう。		

07

耳の仕組みと聴こえ

担当講師	言語聴覚学専攻 准教授 馬屋原 邦博	講義形式	講義
講座概要	おしゃべりをしたり好きな音楽を聴いたりするときに、その言葉や音をとらえているのは耳です。 私たちの耳の仕組みと働きについて考えてみましょう。		

08

難聴者の聴こえ方

担当講師	言語聴覚学専攻 准教授 馬屋原 邦博	講義形式	演習
講座概要	難聴者には、音やことばがどのように聞こえているか、聞こえがどのように変化するのか体験を通して考えてみましょう。		

09

目で見ることば ～聞こえない人・聞こえにくい人とのコミュニケーション～

担当講師	言語聴覚学専攻 准教授 馬屋原 邦博	講義形式	演習
講座概要	音や声が聞こえにくい・聞こえない人はどうやってコミュニケーションをしているのでしょうか。 難聴者には声やことばがどのように聞こえているのでしょうか。難聴者・ろう者にとっての目の役割を考え、難聴者・ろう者と会話するときの方法を体験してみましょう。		

10

人間の身体と二足歩行

担当講師	理学療法学専攻 講師 岡 健司	講義形式	講義
講座概要	ヒトの大きな特徴である二足歩行。 大きな脳、器用な手、会話など二足歩行することでヒトは発達していったその進化を解説します。		

11

歩行の比較生物学

担当講師	理学療法学専攻 講師 岡 健司	講義形式	講義
講座概要	ヒトは身体を立てた状態で、2本の足のみを使って歩きます。これは当然のようですが、他の動物の多くは4本足で歩きます。ヒトと他の動物とで身体構造がどのように異なるのかを比較しながら、なぜヒトが二足で歩けるのかを考えます。		

12

意外と知らない糖のはなし

担当講師	理学療法学専攻 講師 大籠 友博	講義形式	講義
講座概要	糖と聞くと皆さんはどのようなイメージを浮かべますか？ 甘い！と答える人がほとんどかもしれません。実は生物の体の中には甘いだけではない糖があちこちに潜んでいます。この講義では甘いだけじゃない糖の役割についてお話します。		

13

あなたは右脳派？左脳派？～左右の脳の働きを考える～

担当講師	作業療法学専攻 講師 水野 貴子	講義形式	演習
講座概要	血液型性格診断のように、右脳左脳診断テストがあるのをご存じですか？左脳派は計算力や分析力に優れ、右脳派は直観力や想像力に優れているといわれていますが、本当でしょうか？ 実際に右脳左脳診断テストを行い、左右の脳の動きや、脳梗塞などで脳が障害されるとどのような症状が現れるかを考えてみましょう。		

14

医療従事者が人を笑顔にできる訳

担当講師	理学療法学専攻 助教 今岡 真和	講義形式	演習
講座概要	地域に根差して現役で活動する専門理学療法士が運動を通じ、どのように患者やその家族を笑顔にしていけるのか？一人ひとり違う問題を解決していく過程を紹介しながら、臨床を本当に知ることができる講座となっております。		

15

障がい者スポーツ「ボッチャ」を体験しよう

担当講師	作業療法学専攻 教授 中裕 俊介	講義形式	実技
講座概要	チャレンジ・ゲームやニュースポーツまで、今までに体験したことのない運動に挑戦し、余暇活動のバリエーションを増やしてもらいます。		

16

肩の専門家が教える!「肩の仕組みと使い方」

担当講師	理学療法学専攻 准教授 村西 壽祥	講義形式	演習
講座概要	スポーツなどで「肩が痛い」、「肩があがらない」という訴えをよく聞きますが、肩の痛みや肩があがらないのは、肩関節以外にも原因があることも多く、いろいろな体の部位をうまく連動しないといけません。複雑な肩関節の仕組みを理解し、肩関節に負担がかからないための運動を紹介します。		

17

スポーツ活動を健全に行うためのコンディショニング

担当講師	理学療法学専攻 助教 中尾 英俊	講義形式	実技
講座概要	クラブ活動を頑張ることで翌日に残る身体的な疲労の対応策はあるのか? 自分でできること、チームでやることなど、その必要性を具体的に解説します。ストレッチングやアイシング、食事など。		

18

傷害予防に効果的なテーピング法

担当講師	理学療法学専攻 助教 中尾 英俊	講義形式	実技
講座概要	関節の動きを考慮し、サポートする部分に適格に行うテーピング法を紹介・実習します。		

19

成長期のスポーツ傷害の特徴

担当講師	理学療法学専攻 助教 中尾 英俊	講義形式	実技
講座概要	成長期の小中高生は、運動器の成長に関するスポーツ傷害があります。傷害後の骨成長に影響を与えることを考慮した治療が必要です。適切な処置をすることが復帰への近道になります。		

20

理学療法士ができる応急処置

担当講師	理学療法学専攻 助教 中尾 英俊	講義形式	講義
講座概要	スポーツ現場では、練習や試合中に様々なアクシデントが発生し、適切な応急処置をしないと傷の回復が遅れます。 スポーツ現場で活躍する理学療法士が、その応急処置について解説します。		

21

赤ワインポリフェノール(レスベラトロール)の健康寿命の延長効果

担当講師	理学療法学専攻 教授 後藤 隆洋	講義形式	講義
講座概要	赤ワインなどに豊富に含まれるポリフェノールであるレスベラトロール（分子量 228）。 どのように細胞に作用し、健康寿命の延長に効果があるかを私たちの実験結果に基づいて解説します。		

22

今からロコモティブシンドロームを予防する

担当講師	理学療法学専攻 教授 中村 美砂	講義形式	講義
講座概要	骨や筋肉の障害により、「立つ」「歩く」といった機能が低下している状態を言うロコモティブシンドローム（ロコモ）。生活習慣などの変化から、高齢者のみならず若者にもロコモ予備軍が急増しています。 本講座では、その実態と予防策についてお話しします。		

23

災害時の健康を守る運動について

担当講師	理学療法学専攻 教授 峰久 京子	講義形式	講義
講座概要	大規模災害時の避難生活等においては、エコノミークラス症候群やロコモティブ・シンドロームなどの不活発から起こる問題が起こりやすくなります。 この講座では心身の健康を守るための運動について紹介します。		

24

デスクワークからの目の疲れ、肩こり、首のつばりを解消しよう！

担当講師	理学療法学専攻 准教授 小森 武陸	講義形式	演習
講座概要	1. 十分な明かりで仕事・勉強していますか。 2. 仕事机や勉強机はきれいにしていますか。 3. 鉛筆やシャーペンの持ち方は正しいですか。 4. 長時間の座りでも、大丈夫ですか。 ストレスの少ない環境や状態で、デスクワークをして、効率を向上させよう！！		

25

足・姿勢と健康

担当講師	理学療法学専攻 准教授 久利 彩子	講義形式	演習
講座概要	悪い姿勢が及ぼす影響を学び、姿勢をよくする運動を体験します。 気軽にできる運動を覚え良い姿勢を維持しましょう。		

26

日常生活を科学する

担当講師	理学療法学専攻 准教授 久利 彩子	講義形式	演習
講座概要	本講座では、アクティブラーニングという方法を用いて、楽しく学びます。 アクティブラーニングとは、授業に能動的に参加し、疑問や発見を通して理解を深める学習法です。気軽に参加してください。日常生活を科学しましょう！		

27

障がい児に対する理学療法士の関わり

担当講師	理学療法学専攻 講師 畑中 良太	講義形式	講義
講座概要	障がいをもっている子どもに対し、理学療法士はどのように関わっているのかを紹介します。 歩くことができない障がい児や、スキップや縄跳び、ボール遊びなどの運動が苦手な障がい児に関わり、少しでもできるようになる喜びを感じてもらいます。子どもたちの自信ややる気を引き出します。		

28

痛いと感じるだけが痛みじゃない？

担当講師	理学療法学専攻 助教 今井 亮太	講義形式	演習
講座概要	「痛み」とは何でしょう。傷や打撲などの外傷で感じることだけではありません。 心理的、精神的苦痛も痛みと定義されています。「痛み」について考えてみましょう。		

29

左右の手の器用さをくらべてみよう！

担当講師	作業療法学専攻 准教授 石川 健二	講義形式	演習
講座概要	物品を操作する場合、手を伸ばして物体へ到達するまでに、予測的な手の運動プログラムが形成されています。 上肢機能検査を体験しながら、左右の手の巧緻性や敏捷性等をくらべてみよう。		

30

知って得する!「理学療法」～「痛み」の治し方

担当講師	理学療法学専攻 講師 肥田 光正	講義形式	実技
講座概要	「痛み」を感じない人はいません。「痛み」はほっておくと将来大きなケガや病気をする元凶です。「痛み」の治療は理学療法大切な分野です。「痛み」の治し方、また「痛み」を起こさないためのからだづくりやこころのケアについて実際の技術を紹介します。		

31

記憶力っては何かるの?

担当講師	言語聴覚学専攻 講師 芦塚 あおい	講義形式	演習
講座概要	「買い物頼まれたんだけど…あと一つなんだったけ」、など日常生活でちょっとした“物忘れ”を経験したことはありませんか。物忘れが多くなると日常生活で大変困ってしまいます。皆さんの記憶について少し解説し、実際に記憶をどのようにしてはかるか経験してみましょう		

32

目撃証言の信頼性

担当講師	言語聴覚学専攻 講師 松尾 加代	講義形式	講義
講座概要	事件や事故の解決には目撃者による証言が重要ですが、果たして、それらは絶対的に信頼できるものでしょうか。心理学の視点から、目撃記憶・目撃証言についてお話します。		

33

季節の園芸クラフト講座

担当講師	作業療法学専攻 助教 田崎 史江	講義形式	演習
講座概要	季節の植物を使って、創作活動を行います。 季節と日本の暦、行事や習慣を、植物を通して感じ、楽しむ方法をお伝えします。		

34

園芸ボランティア養成講座

担当講師	作業療法学専攻 助教 田崎 史江	講義形式	演習
講座概要	地域で、高齢者施設で、園芸活動を取り入れたいと考えている人たちのために、またはそれをお手伝いしたいと考えている人たちのための講座です。 1. 園芸療法・園芸福祉の考え方 2. 園芸植物の栽培 3. 園芸作業中の介助方法 4. ガーデン・花壇デザイン 5. 施設での園芸実習 (5回シリーズで行います。)		

35

季節の花を活かしたリハビリ体験

担当講師	作業療法学専攻 助教 田崎 史江	講義形式	演習
講座概要	障がいのある方や機能回復、症状改善を図る園芸療法を体験しよう。 屋外実習の紹介と、草花を使った屋内でのリハビリテーションを体験しよう。		

36

上手く飲めない、食べれない!どうしたらいいの!?

担当講師	言語聴覚学専攻 助教 和田 英嗣	講義形式	演習
講座概要	普段、何気なく行っている食べることや飲むこと。しかし、ある日突然好きなものが食べられなくなったり、飲み込みにくくなったらどうだろうか。 飲み込みにくさの体験やその対応などを一緒に考えましょう。		

37

コミュニケーション・トレーニング

担当講師	言語聴覚学専攻 助教 和田 英嗣	講義形式	演習
講座概要	コミュニケーションが大事だとはよく言われますが、コミュニケーションって一体何なのか。 今だからこそ人間関係トレーニングが必要ではないだろうか。体験や実習を通して一緒に学びましょう!		

38

車いすはみんなの大事な移動手段!

担当講師	理学療法学専攻 教授 古井 透	講義形式	実技
講座概要	車いすは見たことはあるけど、触ったことはない。そんなあなたも車いすのプロフェッショナルを目指してみませんか?まず、車いすの「車」の部分と「いす」の部分についてご説明します。そのあと、目で見て、体験して、間違った使い方や身体を痛めないための知恵を持って帰ってください。		

39

脳波からみる脳のはたらき

担当講師	作業療法学専攻 准教授 石川 健二	講義形式	講義
講座概要	人が行動を起こそうとするとき、脳からの電氣的な誘発によって判断がなされているといわれています。 注意集中や記憶をするときの脳波特性を紹介すると共に、検出された波形を見ることでわかる脳のはたらきのしくみを考えます。		

40

声のしくみ

担当講師	言語聴覚学専攻 講師 芦塚 あおい	講義形式	演習
講座概要	みなさんは、多くの場面で「声」を利用して人とコミュニケーションをしているのではないのでしょうか。声は一人ひとり違いますが、どのようにして声を出しているのか少し見てみましょう。		

41

住宅改造の支援による作業療法士の支援について

担当講師	作業療法学専攻 教授 上島 健	講義形式	講義
講座概要	住宅改造という言葉は聞いたことがあるでしょうか？建築分野、福祉用具のことなどの知識を活用し、「ここ」や「からだ」に障がいがある方が、「生き生きと活動できる」ための環境を支援することも重要なリハビリテーションの役割です。介護保険分野で支援を行う作業療法士の仕事を紹介いたします。		

42

病気やケガで片手が使えなくなったら？ ～OTが行う支援～

担当講師	作業療法学専攻 教授 上島 健	講義形式	講義
講座概要	手足が不自由になると、日常生活や仕事で大きな支障が出ます。身体障がい領域での作業療法は、病院でのリハビリ、訪問リハビリなど、様々なところで行われます。片手でできる日常生活を体験し、ちょっとした工夫をワンポイントアドバイスします！！		

43

室内で出来るレクリエーション

担当講師	作業療法学専攻 教授 中松 俊介	講義形式	講義
講座概要	余暇活動の過ごし方として行われるレクリエーション活動から、高齢者に対する予防医学的レクリエーションまで、その指導の準備から実施までを解説し、簡単な種目を体験します。		

44

セラピューティック・レクリエーション

担当講師	作業療法学専攻 教授 中松 俊介	講義形式	講義
講座概要	障害者や高齢者に対して行われる、楽しみながら頭や身体を動かす治療的なレクリエーションを体験し、自分たちで簡単な活動を創作します。		

45

子どもの権利条約

担当講師	言語聴覚学専攻 准教授 野村 和樹	講義形式	講義
講座概要	日本が「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」を批准したのは1994年のことである。この条約は、第42条において「この条約の原則及び規定を成人及び児童のいずれにも広く知らせる。」とあることもあり、この条約の理解を促すとともに、健やかに育むということを考えたい。		

46

不器用な子どもたち ～読み書きが苦手な子ども～

担当講師	言語聴覚学専攻 准教授 高橋 泰子	講義形式	講義
講座概要	勉強をサポートしているわけではないのに、文字を読んだり書いたりすることが苦手という人。記憶が苦手というだけが原因ではありません。見る・聞く・身体・バランスなどに原因があるかもしれません。リハビリ職種の視点から説明していきます。		

47

コミュニケーションを支援する機器・ロボットの紹介と操作体験実習

担当講師	言語聴覚学専攻 教授 木村 秀生	講義形式	実技
講座概要	「ことば」や「コミュニケーション」の障害を支援する、ハイテク・ローテクの様々な機器を紹介します。実際の機器操作も体験してみましょう。		

48

ロボットと作業療法

担当講師	作業療法学専攻 講師 南 征吾	講義形式	演習
講座概要	先進的リハビリテーション機器についての説明後に、その技術をどのようにリハビリテーションへ取り入れるかを作業療法の理論と合わせて実践事例を用いて解説します。まためにこれからの未来のことについて、ディスカッションを行います。		

49

おもしろい“道具”を体験してみよう!!

担当講師	作業療法学専攻 講師 嶋野 広一	講義形式	演習
講座概要	障害を持つと日常生活で不自由さを感じる事が頻繁にあります。いつもできていたこともできなくなります。そこで、その不自由さの手助けをしてくれるのが“道具”です。今回は手助けの“道具”＝自助具の紹介を行います。		

50

作業療法のお仕事 ～手芸ができなくても大丈夫～

担当講師	作業療法学専攻 教授 上島 健	講義形式	講義
講座概要	作業療法士の仕事とは、こころ・からだに障害がある方、低下する恐れのある方などに支援を行います。脳卒中、骨折などによって手足が動きにくくなった肩に便利な道具を使って、今までと同じようにできる方法を支援します。また、「うつ」などのように「こころ」を病んでしまった方の支援も行います。		

51

リハビリテーションってなんだろう

担当講師	作業療法学専攻 准教授 武井 麻喜	講義形式	講義
講座概要	よく耳にする「リハビリ」という言葉。歩く訓練のこと？手足を動かす体操のこと？痛いことをするの？などなど、世間一般的に思われている「リハビリ」についての誤解を解いていき、いったい本当の「リハビリテーション」とは何なのかをわかりやすく説明します。		

52

“作業”を分析してみよう！

担当講師	作業療法学専攻 准教授 武井 麻喜	講義形式	演習
講座概要	身近な“作業”をさまざまな視点から分析してみると何が見えてくるでしょうか？作業を体験し、分析してみると、作業療法の効果を実感してみましょう。		

53

“作業療法”って何だろう？

担当講師	作業療法学専攻 講師 嶋野 広一	講義形式	講義
講座概要	“作業療法”というと難しいイメージを持つかもしれませんが、決してそうではありません。“作業療法”について身近な物事を例にしながら、わかりやすく説明します。		

54

OTって何屋さん？

担当講師	作業療法学専攻 助教 田崎 史江	講義形式	講義
講座概要	～作業療法士とは何をする人で、何を専門とするのか～ 「リハビリテーション」に関わる職種の専門とするところをクリアにしてみませんか。作業療法士を目指すあなたに、まだ迷っている君に、まずは作業療法士の仕事を知っていただきたいと思います。		

55

「こころの病」のリハビリテーション

担当講師	作業療法学専攻 助教 大類 淳矢	講義形式	演習
講座概要	「こころの病」。自分に関係ないように思えますが、だれにでも起こりうる病です。「どんな症状がある?」「どうやって対処、治療する?」などを簡単に説明し、自分や身近な人の不調に気づき、援助をする方法を考えてみましょう。		

56

理学療法士について

担当講師	理学療法学専攻 担当教員	講義形式	講義
講座概要	理学療法士が担う仕事や、資格取得するために必要なことなどを解説します。理学療法士についての理解を深めることができます。		

57

作業療法士について

担当講師	作業療法学専攻 担当教員	講義形式	講義
講座概要	作業療法士が担う仕事や、資格取得するために必要なことなどを解説します。作業療法士についての理解を深めることができます。		

58

言語聴覚士について

担当講師	言語聴覚学専攻 担当教員	講義形式	講義
講座概要	言語聴覚士が担う仕事や、資格取得するために必要なことなどを解説します。言語聴覚士についての理解を深めることができます。		

59

リハビリテーション職について

担当講師	広報委員長 中松 俊介	講義形式	講義
講座概要	リハビリテーション従事者や、各療法士が行う治療の違いなどを解説します。リハビリテーションに関する理解を深めることができます。		

出前講座申込用紙

- 1、申込用紙に必要事項をご記入の上、F A XもしくはE-mailにてご連絡ください。
高校関係の方はアドミッション・オフィス、地域住民の方は庶務係が受付窓口になります。
(受付後、本学担当者より内容確認のご連絡をさせていただきます。)
- 2、ご希望の講座及び日程で調整させていただきますが、ご希望に添えない場合もございます。
その場合は、ご相談させて頂き代替案及び代替日程のご提案をさせていただきます。
- 3、本冊子に掲載している講座のほかにも、「このような講座を行って欲しい」等のご要望がございましたら、お気軽にご相談ください。
- 4、当日の講座実施にあたり、「大阪河崎リハビリテーション大学 企画」である旨の明示をお願い致します。

年 月 日

1. 学校・団体名	
2. 担当者ご氏名	様
3. 連絡先	住所 〒 - 府・県 市
	T E L - -
	F A X - -
	M A I L @
4. 希望講座	
5. 希望日時	年 月 日
	: ~ :
6. 受講予定人数	名
7. その他	

大阪河崎リハビリテーション大学

〒597-0004 大阪府貝塚市水間 158 番地

アドミッション・オフィス＝ TEL: 072-446-7400

庶務係＝ TEL: 072-446-6700

Mail: nyushi@kawasakigakuen.ac.jp

Mail: shomu@kawasakigakuen.ac.jp

FAX: 072-446-6767